



平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年1月31日

上場会社名 全日本空輸株式会社 上場取引所 東証一部・大証一部
 コード番号 9202 URL <http://www.ana.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山元 峯生
 問合せ先責任者 (役職名)総務部長 (氏名)久松 完 TEL (03)6735-1001

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第3四半期の連結業績(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(1)連結経営成績

%表示は対前年同四半期増減率

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	1,141,555	(0.6)	93,989	(2.5)	78,793	(8.3)	117,978	(176.9)
19年3月期第3四半期	1,134,554	(9.3)	91,739	(2.0)	72,778	(3.4)	42,610	(42.5)
19年3月期	1,489,658		92,190		62,574		32,658	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	60	57	-	
19年3月期第3四半期	21	88	-	
19年3月期	16	77	-	

(2)連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第3四半期	1,732,758		539,389		30.7	273	20	
19年3月期第3四半期	1,642,324		410,977		24.5	206	69	
19年3月期	1,602,091		405,912		24.9	204	42	

(3)連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第3四半期	141,526		100,712		104,742		309,391	
19年3月期第3四半期	135,967		97,616		67,067		214,142	
19年3月期	158,714		128,298		100,897		172,274	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
19年3月期		-	3	00	3	00
20年3月期		-		-		
20年3月期(予想)		-	5	00	5	00

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

連結業績予想の見直しは現時点では行っておりません。

4. その他

- (1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2)会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3)最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. その他をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期の概況（平成19年4月1日～平成19年12月31日）

わが国経済は、堅調な企業収益と設備投資、個人消費の緩やかな回復とともに成長を続けておりますが、一方で、原油価格の高騰、米国サブプライム問題の波及影響など、景気の先行きに関しては不透明感が拭えない状況にあります。このような情勢下、当社グループは、ネットワークを拡大する中で需要喚起策やコスト抑制に努め、引き続き収益の確保と財務体質の強化に取り組んで参りました。

その結果、当第3四半期（9ヶ月）の連結経営成績は、ホテル事業セグメントの収入貢献はなくなりましたが、航空運送事業の増収により売上高は前年同期比70億円増収の11,415億円となりました。営業利益は939億円（前年同期比22億円の増益）、経常利益が787億円（同60億円の増益）、四半期純利益が1,179億円（同753億円の増益）となりました。

事業別の業績の概況は以下のとおりです（なお、各事業における売上高はセグメント間内部売上高を含んでおります）。

【航空運送事業】

国内線旅客事業においては、総需要が弱含みで推移する中、主要路線における競争は一層激化し、国内線全体で旅客数は前年同期比98.2%となりましたが、需要に応じた柔軟な価格設定や適切な座席管理により、国内線旅客収入は前年同期に比べ125億円の増収となりました。

国際線旅客事業は、欧米路線及びアジア路線を中心にビジネス需要が堅調に推移し、旅客数及び旅客単価とも向上しました。また、ネットワークを拡大している中国路線においても旅客数は前年同期を上回りました。その結果、旅客数は前年同期比107.4%となり、国際線旅客収入は同300億円の増収となりました。

貨物事業は、国内線においては新規参入会社の影響は受けましたが、輸送量は前年を上回りました。国際線においては、貨物ネットワーク基盤を強化したことから、輸送量は前年比121.2%となりました。これらの結果、国内線貨物収入は前年同期比で微減、国際線貨物収入は同76億円の増収となりました。

営業費用面では、原油価格の高騰により燃油費・燃料税は前年同期に比べて224億円増加したほか、国際線を中心に路線基盤を拡大している中、減価償却費や販売関連費用も増加しました。以上の結果、航空運送事業は売上高9,972億円（前年同期比472億円の増収）となり、営業利益は873億円（同75億円の増益）となりました。

【旅行事業】

旅行事業は、旅行ニーズに対応した商品やサービスの提供により、売上高は前年同期比72億円の増収となり、営業利益は24億円（前年同期比4億円の減益）となりました。

【その他の事業】

その他の事業は、商事・物販事業において食品や紙パルプ事業が引き続き好調でしたが、航空運送事業分野の取扱いが減少し、売上高は前年同期比14億円の減収、営業利益は46億円（前年同期比4億円の増益）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産の部は、平成19年6月のホテル事業資産譲渡に伴い、「現預金及び有価証券」が大きく増加したことなどから、流動資産は前3月期末に比べて1,848億円増加しました。一方で、土地、建物等のホテル事業資産の減少等により、固定資産は537億円減少しました。これらの結果、総資産は前3月期末に比べて1,306億円増加し、1兆7,327億円となりました。

負債の部は、負債合計では前3月期末に比べて28億円減少しています。なお、期末の有利子負債残高（短期借入金、長期借入金、社債の合計）は、前3月期末に比べて969億円減少し、6,525億円となりました。

純資産の部は、四半期純利益の計上と配当金の支払いの結果、利益剰余金が前3月期末に比べて1,121億円増加しました。また繰延ヘッジ損益が237億円増加したことなどから、純資産合計は5,393億円（前期末比1,334億円の増加）、自己資本比率は30.7%となりました。

当第3四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純利益に減価償却費および債権債務の増減などを加減算した結果、1,415億円となっています。

投資活動によるキャッシュ・フローは、新規航空機受領による支出がありましたが、ホテル事業資産譲渡による収入が大きく、1,007億円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは借入金の調達、返済、社債の償還、配当金の支払いなどにより1,047億円の支出となり、当第3四半期末における現金及び現金同等物の期末残高は前3月期末に比べて1,371億円増加し3,093億円となりました。

3. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

- ・該当事項はありません。なお、平成19年6月1日に当社グループ直営ホテルに関し、当社が保有する関連子会社14社の全株式等の譲渡を行ったことにより、連結範囲から除外しております。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無

- ・金融商品の減損処理は、原則実施しておりません。
- ・税金費用の計上にあたっては、法定実効税率または最近連結会計年度の実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。また、連結納税制度の適用に伴う税金費用の計上にあたり、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無

- ・該当事項はありません。

以上

4. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位: 百万円)

科 目	平成18年度 第3四半期 累計 (9ヶ月) 自平成18年4月1日 至平成18年12月31日	平成19年度 第3四半期 累計 (9ヶ月) 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日	増 減	【参考】 平成19年度	
				中間期 (6ヶ月) 自平成19年4月1日 至平成19年9月30日	第3四半期 (3ヶ月) 自平成19年10月1日 至平成19年12月31日
・ 営業収入	1,134,554	1,141,555	7,001	763,276	378,279
・ 事業費	832,246	831,624	622	552,100	279,524
・ 販売費及び一般管理費	210,569	215,942	5,373	144,086	71,856
営業利益	91,739	93,989	2,250	67,090	26,899
・ 営業外収益	8,891	8,266	625	5,640	2,626
1. 受取利息	3,249	2,236	1,013	1,482	754
2. その他	5,642	6,030	388	4,158	1,872
・ 営業外費用	27,852	23,462	4,390	15,959	7,503
1. 支払利息	13,886	10,070	3,816	6,846	3,224
2. その他	13,966	13,392	574	9,113	4,279
経常利益	72,778	78,793	6,015	56,771	22,022
・ 特別利益	4,049	137,853	133,804	137,763	90
1. 固定資産売却益	548	2,758	2,210	2,758	-
2. 投資有価証券売却益	1,176	840	336	831	9
3. 貸倒引当金戻入益	13	58	45	58	-
4. ホテル事業資産譲渡益	-	132,992	132,992	132,992	-
5. その他	2,312	1,205	1,107	1,124	81
・ 特別損失	3,778	26,026	22,248	25,760	266
1. 固定資産売却損	187	559	372	559	-
2. 固定資産除却損	1,038	105	933	1	104
3. 特別退職金	230	156	74	150	6
4. 投資有価証券売却損	315	11	304	11	-
5. 臨時償却費	-	22,331	22,331	22,331	-
6. その他	2,008	2,864	856	2,708	156
税金等調整前四半期純利益	73,049	190,620	117,571	168,774	21,846
税金費用	29,405	71,888	42,483	62,796	9,092
少数株主利益	1,034	754	280	477	277
四半期(当期)純利益	42,610	117,978	75,368	105,501	12,477

(注) 上記第3四半期(3ヶ月)の数値は、中間期(6ヶ月)、第3四半期累計(9ヶ月)の各数値をベースとして差し引きすることにより算出しております。

(2) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科 目	平成18年度	平成19年度	増 減	平成19年度	増 減
	平成19年3月31日	第3四半期 平成19年12月31日		中間期 平成19年9月30日	
【資産の部】					
流動資産	422,048	606,884	184,836	592,293	14,591
現預金及び有価証券	172,992	310,123	137,131	323,451	13,328
営業未収入金	123,288	121,388	1,900	116,114	5,274
たな卸資産	60,736	68,063	7,327	64,678	3,385
その他	65,032	107,310	42,278	88,050	19,260
固定資産	1,179,535	1,125,748	53,787	1,101,385	24,363
有形固定資産	969,810	905,208	64,602	893,029	12,179
無形固定資産	43,022	43,302	280	43,112	190
投資その他の資産	166,703	177,238	10,535	165,244	11,994
繰延資産	508	126	382	211	85
資 産 合 計	1,602,091	1,732,758	130,667	1,693,889	38,869
【負債の部】					
流動負債	473,034	524,472	51,438	490,584	33,888
支払手形及び営業未払金	198,988	200,419	1,431	203,992	3,573
短期借入金、一年以内に償還する社債 及び一年以内に返済する長期借入金	158,724	115,054	43,670	94,494	20,560
その他	115,322	208,999	93,677	192,098	16,901
固定負債	723,145	668,897	54,248	692,000	23,103
社債及び長期借入金	590,722	537,480	53,242	561,699	24,219
退職給付引当金	112,606	113,681	1,075	112,384	1,297
その他	19,817	17,736	2,081	17,917	181
負 債 合 計	1,196,179	1,193,369	2,810	1,182,584	10,785
【純資産の部】					
株主資本	364,545	476,493	111,948	464,053	12,440
資本金	160,001	160,001	-	160,001	-
資本剰余金	125,739	125,748	9	125,745	3
利益剰余金	79,530	191,664	112,134	179,187	12,477
自己株式	725	920	195	880	40
評価・換算差額等	33,678	55,603	21,925	40,144	15,459
その他有価証券評価差額金	10,885	9,477	1,408	13,354	3,877
繰延ヘッジ損益	23,155	46,932	23,777	26,941	19,991
為替換算調整勘定	362	806	444	151	655
少数株主持分	7,689	7,293	396	7,108	185
純 資 産 合 計	405,912	539,389	133,477	511,305	28,084
負 債 純 資 産 合 計	1,602,091	1,732,758	130,667	1,693,889	38,869

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科 目	平成18年度 第3四半期	平成19年度 第3四半期	【参考】 平成19年度	
	累計 (9ヶ月) 自平成18年4月1日 至平成18年12月31日	累計 (9ヶ月) 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日	中間期 (6ヶ月) 自平成19年4月1日 至平成19年9月30日	第3四半期 (3ヶ月) 自平成19年10月1日 至平成19年12月31日
・営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期純利益	73,049	190,620	168,774	21,846
減価償却費	64,259	70,161	46,402	23,759
臨時償却費	-	22,331	22,331	-
その他	1,341	141,586	125,944	15,642
営業活動によるキャッシュ・フロー	135,967	141,526	111,563	29,963
・投資活動によるキャッシュ・フロー				
有形固定資産取得による支出	176,341	174,357	128,378	45,979
有形固定資産売却による収入	77,824	44,785	32,520	12,265
無形固定資産取得による支出	10,060	13,020	7,555	5,465
その他	10,961	243,304	233,689	9,615
投資活動によるキャッシュ・フロー	97,616	100,712	130,276	29,564
・財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の増減(減少:)	3,339	1,500	90	1,590
長期借入による収入	71,818	54,120	30,000	24,120
長期借入返済による支出	86,135	107,752	78,395	29,357
社債償還による支出	45,000	45,000	45,000	-
その他	4,411	7,610	8,154	544
財務活動によるキャッシュ・フロー	67,067	104,742	101,639	3,103
・現金及び現金同等物の換算差額	44	379	221	600
・現金及び現金同等物の増減額(減少:)	28,672	137,117	140,421	3,304
・現金及び現金同等物の期首残高	242,785	172,274	172,274	312,695
・連結範囲変更に伴う現金及び現金同等物への影響額	29	-	-	-
・現金及び現金同等物の期末残高	214,142	309,391	312,695	309,391

(注) 上記第3四半期(3ヶ月)の数値は、中間期(6ヶ月)、第3四半期累計(9ヶ月)の各数値をベースとして差し引きすることにより算出しております。

(4) セグメント情報

平成18年度第3四半期累計(平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	航空運送事業	旅行事業	ホテル事業	その他の事業	計	消去又は全社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	862,943	142,343	44,838	84,430	1,134,554	-	1,134,554
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	87,042	15,834	6,535	63,800	173,211	(173,211)	-
計	949,985	158,177	51,373	148,230	1,307,765	(173,211)	1,134,554
営 業 費 用	870,193	155,223	46,414	144,083	1,215,913	(173,098)	1,042,815
営 業 利 益	79,792	2,954	4,959	4,147	91,852	(113)	91,739

平成19年度第3四半期累計(平成19年4月1日～平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	航空運送事業	旅行事業	その他の事業	計	消去又は全社	連 結
売 上 高						
(1)外部顧客に対する売上高	902,725	150,561	88,269	1,141,555	-	1,141,555
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	94,555	14,895	58,488	167,938	(167,938)	-
計	997,280	165,456	146,757	1,309,493	(167,938)	1,141,555
営 業 費 用	909,970	162,977	142,147	1,215,094	(167,528)	1,047,566
営 業 利 益	87,310	2,479	4,610	94,399	(410)	93,989

(注) ホテル事業資産の譲渡に伴い、今年度より「ホテル事業」の記載を行っておりません。

【参考】

平成18年度第3四半期(平成18年10月1日～平成18年12月31日)

(単位:百万円)

	航空運送事業	旅行事業	ホテル事業	その他の事業	計	消去又は全社	連 結
売 上 高							
(1)外部顧客に対する売上高	293,700	44,079	15,912	27,990	381,681	-	381,681
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	26,982	5,066	2,005	20,676	54,729	(54,729)	-
計	320,682	49,145	17,917	48,666	436,410	(54,729)	381,681
営 業 費 用	301,630	48,685	16,141	46,917	413,373	(54,650)	358,723
営 業 利 益	19,052	460	1,776	1,749	23,037	(79)	22,958

平成19年度第3四半期(平成19年10月1日～平成19年12月31日)

(単位:百万円)

	航空運送事業	旅行事業	その他の事業	計	消去又は全社	連 結
売 上 高						
(1)外部顧客に対する売上高	302,300	46,713	29,266	378,279	-	378,279
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	28,874	4,838	20,093	53,805	(53,805)	-
計	331,174	51,551	49,359	432,084	(53,805)	378,279
営 業 費 用	306,616	50,971	47,282	404,869	(53,489)	351,380
営 業 利 益	24,558	580	2,077	27,215	(316)	26,899

(注) 上記第3四半期(3ヶ月)の数値は、中間期(6ヶ月)、第3四半期累計(9ヶ月)の各数値をベースとして差し引きすることにより算出しております。

(5) 航空運送事業の売上高の内訳及び輸送実績

【売上高の内訳】

(単位：百万円)

区分		事業年度	平成18年度	平成19年度	増減
			第3四半期累計 自平成18年4月1日 至平成18年12月31日	第3四半期累計 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日	
航空運送事業	国内線	旅客収入	556,554	569,064	12,510
		貨物収入	23,402	23,307	95
		郵便収入	7,055	6,162	893
		手荷物収入	244	240	4
		小計	587,255	598,773	11,518
	国際線	旅客収入	209,744	239,772	30,028
		貨物収入	46,334	53,941	7,607
		郵便収入	2,570	3,289	719
		手荷物収入	344	396	52
		小計	258,992	297,398	38,406
	航空事業収入合計	846,247	896,171	49,924	
	その他の収入	103,738	101,109	2,629	
	合計	949,985	997,280	47,295	

(注) 各収入は事業区分(セグメント)間の売上高を含んでおります。

【輸送実績】

区分		事業年度	平成18年度	平成19年度	前年同期比 (%)
			第3四半期累計 自平成18年4月1日 至平成18年12月31日	第3四半期累計 自平成19年4月1日 至平成19年12月31日	
国内線	旅客数(人)		35,412,863	34,780,610	98.2
	座席キ口(千席キ口)		47,105,351	47,387,678	100.6
	旅客キ口(千人キ口)		30,906,522	30,414,958	98.4
	利用率(%)		65.6	64.2	1.4
	貨物輸送重量(トン)		349,883	352,542	100.8
	貨物輸送量(千トンキ口)		337,731	338,484	100.2
	郵便輸送重量(トン)		71,710	69,050	96.3
	郵便輸送量(千トンキ口)		76,482	71,623	93.6
国際線	旅客数(人)		3,387,816	3,639,894	107.4
	座席キ口(千席キ口)		19,678,869	21,234,268	107.9
	旅客キ口(千人キ口)		15,088,751	16,091,446	106.6
	利用率(%)		76.7	75.8	0.9
	貨物輸送重量(トン)		205,549	249,144	121.2
	貨物輸送量(千トンキ口)		930,801	1,218,181	130.9
	郵便輸送重量(トン)		11,697	11,373	97.2
	郵便輸送量(千トンキ口)		50,560	55,801	110.4

- (注) 1. 国内線にはIBEXエアラインズ(株)、北海道国際航空(株)、スカイネットアジア航空(株)および当期より(株)スターフライヤーとのコードシェア便実績を含みます。
2. 国際線にはユナイテッド航空(関西-ホノルル線：運航休止により平成19年4月1日より9月30日まで)およびエバー航空とのコードシェア便実績を含みます。
3. 国内線、国際線ともにチャーター便実績を除いております。
4. 国内線深夜貨物定期便実績を含みます。

【参考】

【売上高の内訳】

(単位：百万円)

区 分		事業年度	平成18年度 第3四半期	平成19年度 第3四半期	増 減
			自 平成18年10月1日 至 平成18年12月31日	自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日	
航空運送事業	国内線	旅客収入	183,560	187,815	4,255
		貨物収入	8,290	8,269	21
		郵便収入	2,501	2,294	207
		手荷物収入	66	72	6
		小 計	194,417	198,450	4,033
	国際線	旅客収入	71,502	77,672	6,170
		貨物収入	17,765	19,669	1,904
		郵便収入	952	1,231	279
		手荷物収入	112	104	8
		小 計	90,331	98,676	8,345
	航空事業収入合計	284,748	297,126	12,378	
	その他の収入	35,934	34,048	1,886	
	合 計	320,682	331,174	10,492	

- (注) 1. 各収入は事業区分(セグメント)間の売上高を含んでおります。
 2. 上記第3四半期(3ヶ月)の数値は、中間期(6ヶ月)、第3四半期累計(9ヶ月)の各数値をベースとして差し引きすることにより算出しております。

【輸送実績】

区 分		事業年度	平成18年度 第3四半期	平成19年度 第3四半期	前年同期比 (%)
			自 平成18年10月1日 至 平成18年12月31日	自 平成19年10月1日 至 平成19年12月31日	
国内線	旅客数(人)		12,019,499	11,744,506	97.7
	座席キ口(千席キ口)		15,645,325	15,687,914	100.3
	旅客キ口(千人キ口)		10,435,996	10,247,405	98.2
	利用率(%)		66.7	65.3	1.4
	貨物輸送重量(トン)		126,358	127,132	100.6
	貨物輸送量(千トンキ口)		121,417	121,429	100.0
	郵便輸送重量(トン)		27,122	26,339	97.1
	郵便輸送量(千トンキ口)		28,496	27,321	95.9
国際線	旅客数(人)		1,148,407	1,215,383	105.8
	座席キ口(千席キ口)		6,839,855	7,121,645	104.1
	旅客キ口(千人キ口)		5,092,417	5,327,378	104.6
	利用率(%)		74.5	74.8	0.3
	貨物輸送重量(トン)		77,571	90,017	116.0
	貨物輸送量(千トンキ口)		353,505	440,596	124.6
	郵便輸送重量(トン)		4,340	4,222	97.3
	郵便輸送量(千トンキ口)		18,732	20,876	111.4

- (注) 1. 国内線にはIBEXエアラインズ(株)、北海道国際航空(株)、スカイネットアジア航空(株)および当期より(株)スターフライヤーとのコードシェア便実績を含みます。
 2. 国際線にはエバー航空とのコードシェア便実績を含みます。
 3. 国内線、国際線ともにチャーター便実績を除いております。
 4. 国内線深夜貨物定期便実績を含みます。
 5. 上記第3四半期(3ヶ月)の数値は、中間期(6ヶ月)、第3四半期累計(9ヶ月)の各数値をベースとして差し引きすることにより算出しております。